

＜主張点＞　日本には、敵国の死者でも丁寧にともらうというヒューマニズムにあふれた文化がある。

平安時代中期には、疫病の流行や自然災害が頻発し、特定の人間の怨霊の祟りを鎮めるために怨霊を神として祀る信仰が広まった。怨みを遣して死んだり、非命にたおれた者の靈は、その相手をはじめ不特定の人々に崇って、災禍をもたらすものと広く信じられたのである。

怨霊信仰が民間に広く普及するとともに、災害、海難等の事故で変死した者は、とくに手あつく葬り、その死靈を招き慰めて怨念を晴らし、祟りが来ないようにする宗教習俗が定着した。なかでも、戦争は、そのたびに無残な死者をつくりだし、その死靈は、敵味方の区別なく、怨霊となって祟ると恐れられていた。そのことが、仏教の思想の中にある「怨親平等」(戦場で死んだ死者の靈を供養して、憎しみあいを越えて、平等に極楽往生させる。)という思想が日本に定着していく素地になっていたのである。

敵味方とともに弔祭する行為は、祟りを恐れるという切実な動機から発するものではあったが、同時に日本人の心に人間の生命を尊び他者の死を愛惜する、ゆたかなヒューマニズムを育むことになった。死んでしまえば敵も味方もない、という人間観は、支配者のために戦場に追いやられ、何の恩怨もない敵を殺さなければならない民衆の生活感情に根ざした思想であり、日本の伝統文化になっている。そのことを子ども達に伝えていくことは、正しい歴史認識を育む上で必要なことだと考えた。

## 戦争と日本人の慰霊文化 授業案



日露戦争の旅順の戦いです。 155日間血みどろの激しい戦いが行われました。戦死傷者 日本 約59000人。ロシア 約35000人。日本はこの慰霊碑を建てました。 誰のための慰霊碑でしょうか。

戦争死したロシア兵の慰霊碑です。

慰霊碑が出来たのは戦争が終わって2年後。日本とロシアで合同の慰霊祭を行いました。ロシアの人は、敵の慰霊碑を建てるなど、世界に例がないといって日本人を心から尊敬したのでした。 日本も太平洋戦争に敗れてこの地を去るまで、とても大切にしていました。 日本が勝った戦争です。

次は日本が負けた太平洋戦争です。日本は、敵のアメリカ兵の慰霊碑を建てたり慰霊祭を行ったりしたのでしょうか。したと思う人？ しなかつたと思う人。

戦後になって、元アメリカ兵や遺族を招いて、激しい戦いがあった硫黄島で平和の願いをこめて合同の慰霊祭をしています。日露戦争と同じようなことをしているんですね。

さて、ここまででは軍人同士の話でした。太平洋戦争の末期B29が日本を無差別爆撃をします。約50万人の罪のない人が殺されたのです。

東京都青梅市に1機のB29が墜落しました。当然、そこには焼けこげた搭乗員の死体があります。住民は、その死体をどうしたと思いますか。自分の考えとその理由をノートに書きなさい。

住民は、死体をほったらかしにしていたそうです。  
そこに「敵国人であっても、死ねば同じ人間なのだから、丁重に埋葬すべきだ。」と呼びかけた人がいました。地元の警防団といっしょに丁重に葬ったそうです。墜落地に地主さんが、密かに慰霊碑をたてました。それからもずっと慰霊碑を大切にしてきたのです。その話しが最近在日米軍にも伝わりました。そして今年の4月2日に、米軍の代表者を招いて合同慰霊祭を行いました。

さて、日本で撃墜されたB29は、485機。3041名の米兵が亡くなりました。慰霊碑は、ここだけじゃない他にもあると思う人。ないと思う人。

日本各地に、墜落死したB29の搭乗員の慰霊碑があるのです。日本には敵国の死者を丁重に葬り、そして平和を願うという文化があるのです。今日の授業の感想を書きましょう。